試　験　地	受検種別	受　験　番　号	氏　　名

2 建実

（**受験地変更者**は上欄のほか，本日の受験地と仮受験番号を記入してください。
本日の受験地＿＿＿＿＿＿　仮受験番号　仮―＿＿＿＿＿＿）

平成 19 年度

2 級建築施工管理技術検定試験

実地試験問題

次の注意事項をよく読んでから始めてください。

〔**注　意　事　項**〕

1．ページ数は表紙を入れて **6 ページ**です。

2．試験時間は，**14 時から 16 時**です。

3．試験問題は **5 問題**です。**全問題解答**してください。

4．解答は，**別の解答用紙**の定められた範囲内に，**黒鉛筆か黒シャープペンシル**で記入してください。

5．この試験問題用紙は，実地試験の試験終了時刻まで在席した方のうち，希望者は持ち帰ることができます。
途中退席者や希望しない方の試験問題用紙は，回収します。

問題１　あなたが経験した**建築工事**（土木工事，設備工事等は含まない）のうち，あなたの受検種別にかかる工事を１つ選び，下記に示す工事概要を記入した上で，次の問いに答えなさい。

〔工事概要〕

イ．工　事　名

ロ．工 事 場 所

ハ．工事の内容　（新築等の場合：建物用途，構造，階数，延べ面積又は施工数量，主な外部仕上げ，主要室の内部仕上げ／改修等の場合：建物用途，主な改修内容，施工数量又は建物規模）

ニ．工　　期　（年号又は西暦で年月まで記入）

ホ．あなたの立場

ヘ．あなたの具体的な業務内容

1.　上記の工事概要であげた工事において，あなたが実際にかかわった工種名（鉄筋工事，左官工事等）をあげ，その工種における施工計画に関する下記の項目の中から**４つ**を選び，それぞれについて**実際に検討し行ったこと**と何故そうするのが良いと考えたのか**その理由**を，具体的に記述しなさい。

なお，工種名については，同一の工種名でなくてもよい。

〔項目〕

「施工方法又は作業手順」

「材料の搬入又は荷揚げの方法」

「材料の保管又は仮置きの方法」

「作業床や足場の設置方法」

「養生の方法」（労働者の安全に関する養生を除く）

「試験又は検査の実施方法」

「他の関連工種との調整方法」

2.　あなたの今日までの工事経験の内容にかかわらず，建築工事の現場において工事作業要領を作業員に徹底させるためにはどのようにしたら良いと考えるか，指導する**作業内容**を記述した上で，当該作業内容に関する**指導・監督の方法**と実行されているか**確認する方法**について具体的に記述しなさい。

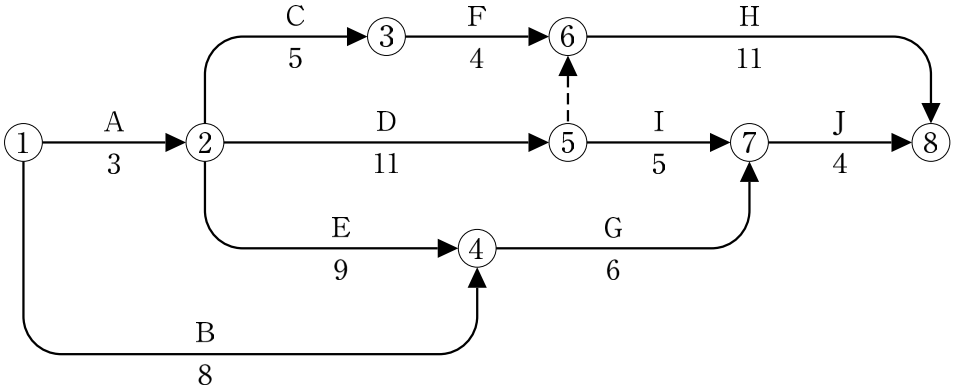
問題 2　下記の建築工事に関する用語のうちから**5つ**を選び，その**用語の説明**と**施工上の留意すべき内容**を具体的に記述しなさい。

ただし，仮設に関する用語以外の用語について，留意すべき内容には作業上の安全に関する記述は除くものとする。また，材料に不良品はないものとする。

ヴィブラート工法	エンドタブ	親綱
型枠の根巻き	外壁石張り乾式工法	鋼矢板
タイルカーペット	たてどいの養生管	つり棚足場
鉄筋の先組み工法	土工事における釜場	腹筋
パテかい	屋上の保護コンクリート	

問題 3　下記に示すネットワーク工程表について，次の問いに答えなさい。

なお，作業を表す矢印の上段は作業名，下段は所要日数を示す。



1.　上記の工程表において，クリティカルパスを，作業名で工程順に並べて答えなさい。

2.　上記の工程表において，作業Ｊのフリーフロートは何日間であるか，日数で答えなさい。

3.　上記の工程表において，作業Ｅが５日間，作業Ｆが３日間延びたときの①から⑧までの総所要日数を答えなさい。

問題 4　次の文章中，下線部の語句が適当なものは○印，不適当なものは適当な語句を解答欄に記入しなさい。

1.　一般に，場所打ち杭のコンクリート打込みは，泥水中若しくは安定液中で行われる。コンクリート中に泥水・安定液を巻き込まずに良質なコンクリートを打ち込むためにヒューム管を使用する。

2.　コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間の限度は，外気温が 25 ℃未満で 120 分，25 ℃以上で 100 分とする。

3.　大梁の鉄筋をガス圧接する場合は，圧接箇所ごとに鉄筋径程度の縮み代を見込んで切断又は加工しないと，定着寸法の不足や，直交部材の配筋のみだれを招くことになる。

4.　鉄骨工事の高力ボルトによる摩擦接合において，摩擦面をサンドブラスト又はグリットブラストにて表面あらさを 50 μmR_Z 以上に処理すれば，赤錆は発生しなくてもよい。

5.　一般に，軽量鉄骨天井下地工事において，天井ふところが 1,500 mm 以上ある場合には，縦横間隔 2,700 mm 程度に吊りボルトの振れ止め補強を行う。

6.　塔屋など普段は人が上がらない屋根には，パラペットの立上り部に丸環を取り付けることが望ましく，ルーフドレンからの排水が悪くなって雨水が溜まったときなどに，丸環から排水することにより，雨水が屋内へ浸入しないようにする。

7.　塗装工事における塗料は原則として調合された塗料をそのまま使用する。ただし，そのまま使用することが困難な場合は，素地面の粗密，吸水性の大小，気温の高低等に応じて，適正な希釈割合の範囲内で塗布に適するように調整することができる。

8.　マスキングテープは，せっこうボード壁の出隅部のひび割れ，出隅部への衝突による損傷を防止するためのものである。

問題５　「建設業法」,「建築基準法」及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」に定める下記の各法文において，それぞれ誤っている語句の**番号を１つあげ**，それに対する**正しい語句**を解答欄に記入しなさい。

1.　建設業法（法第１条）

この法律は，建設業を営む者の資質の向上，建設工事の請負契約①の適正化等を図ることによって，建設工事の適正②な施工を確保し，請負者③を保護するとともに，建設業の健全な発達を促進し，もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

2.　建築基準法（法第90条）

建築物の建築，修繕，模様替又は除却のための工事の設計者①は，当該工事の施工に伴う地盤②の崩落，建築物又は工事用の工作物③の倒壊等による危害を防止するために必要な措置を講じなければならない。

3.　建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）（法第18条）

対象建設工事の元請業者①は，当該工事に係る特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは，主務省令で定めるところにより，その旨を当該工事の発注者②に書面で報告するとともに，当該再資源化等の実施状況に関する記録を作成し，これを提出③しなければならない。